

令和7年度第2回登米市入札契約監視委員会

日時：令和8年1月27日（火）

午後2時～

場所：登米市迫公民館

2階 視聴覚室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報 告

(1) 令和7年度（上半期）入札及び契約の状況報告

【資料1-1～資料1-2】

(2) 指名停止措置の運用状況報告

【資料2】

4 議 題

抽出事案の審議

【資料3～資料3-6】

5 その他

・次回開催時期について

6 閉 会

令和7年度第2回登米市入札契約監視委員会

令和7年度上半期入札方式別集計表

契約期間：令和7年4月1日～令和7年9月30日

入札方式	件数	内訳（工種等）	備考
1. 条件付一般競争入札	1件	水道施設工事 1件	工事1件
2. 制限付一般競争入札	38件	土木一式工事 14件 解体工事 1件 消防施設工事 1件 水道施設工事 2件 電気工事 1件 電気通信工事 1件 塗装工事 2件 舗装工事 3件 防水工事 2件 建設関連業務 8件 役務の提供 3件	工事27件
3. 総合評価一般競争入札	10件	土木一式工事 5件 水道施設工事 1件 舗装工事 4件	工事10件
4. 指名競争入札	133件	土木一式工事 3件 解体工事 1件 管工事 1件 建具工事 1件 浄化槽設置工事 11件 水道施設工事 2件 電気工事 2件 舗装工事 1件 建設関連業務 18件 物品（購入・製造・賃貸） 36件 役務の提供 57件	工事22件
総契約件数	182件		

指名停止情報

令和 8 年 1 月 8 日現在

番号	商号又は名称	所在	指名停止		指名停止 期 間	指名停止 登録業種	指名停止 措置事由
			始期	終期			
1	阿部建設(株)	宮城県	R7. 7. 12	R8. 4. 11	9月	建設工事	不正または不 誠実な行為
2	(株)中央技術コンサルタンツ	宮城県	R7. 8. 9	R8. 10. 8	14月	建設関連業務	談合等
3	新明和工業(株)	兵庫県	R7. 10. 25	R8. 9. 24	11月	建設工事	独占禁止法 違反

審議案件一覧

(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

No	入札方式	工事名称（業務名称）	区分・種目	予定価格 (税抜：円)	担当課	備考
1	制限付 一般競争入札	水道2号線外舗装復旧工 事	舗装工事	27,077,125	水道施設課	
2	制限付 一般競争入札	水道6号線布設替工事	水道施設工事	32,652,757	水道施設課	
3	制限付 一般競争入札	水道2号線布設替（その 3）工事	水道施設工事	90,725,522	水道施設課	
4	制限付 一般競争入札	豊里定住促進住宅外壁等 改修工事（第二期）	塗装工事	47,363,323	住宅都市整備課	
5	制限付 一般競争入札	登米市公共施設3施設 ZEB化等導入可能性調査 業務委託	役務の提供	6,360,000	総務課	
6	指名競争入札	消防用ホース購入	物品（製造）	3,509,700	警防課	

審議概要	
案件No.	1
案件名	水道2号線外舗装復旧工事
入札経過及び結果等	<p>制限付一般競争入札で執行し、参加条件については、市内に本社又は支社を有する事業者であって、舗装工事部門の格付等級がS等級とA等級で自社施工可能業者であることとしたもの。</p> <p>低入札価格調査制度の対象とし、6者からの応札があり落札率は85.83%であった。</p>
事業概要	<p>水道管路緊急改善事業として、経年老朽化した主要配水管路を地震に強い耐震型ダクタイル鋳鉄管に更新しており、前年度に配水管布設替工事を施工した箇所</p> <p>の舗装本復旧工事を実施したもの。</p>
委員会意見	<p>本案件の入札にあつては、低入札価格調査制度が適用された。入札の結果、調査基準価格を上回った者はおらず、失格基準価格を上回ったのは4者であった。</p> <p>そのうち最も低い価格を提示した者が調査対象に選ばれた。調査の結果、契約内容に適合した履行が認められたので落札者としたとのことであった。</p> <p>落札者は自助努力によりコスト削減に努め、その結果、他者よりも安い価格を提示できたとの説明を受け、何ら問題がないことを確認した。</p>

審議概要	
案件No.	2
案件名	水道6号線布設替工事
入札経過及び結果等	<p>制限付一般競争入札で執行し、参加条件については、市内に本社又は支社を有する事業者であって、水道施設工事部門の格付等級がA等級とB等級の業者であることとしたもの。</p> <p>低入札価格調査制度の対象とし、15者からの応札があり落札率は85.57%であった。</p>
事業概要	<p>水道管路緊急改善事業として、経年老朽化した主要配水管路を地震に強い耐震型ダクタイル鋳鉄管に更新しており、その布設替工事を行ったもの。</p>
委員会意見	<p>本案件の入札にあつても低入札価格調査制度が適用された。入札の結果、調査基準価格を上回った者がいないので、失格基準価格を上回った14者のうち最も低い価格を提示した者が調査対象に選ばれた。調査の結果、契約内容に適合した履行が認められたので落札者としたとのことであった。</p> <p>落札者は自助努力によりコスト削減に努め、その結果、他者よりも安い価格を提示できたとのことであった。担当者の説明を受け、何ら問題がないことを確認した。</p>

審議概要	
案件No.	3
案件名	水道2号線布設替(その3)工事
入札経過及び結果等	<p>制限付一般競争入札で執行し、参加条件については、市内に本社又は支社を有する事業者であって、水道施設工事部門の格付等級がS等級とA等級の業者であることとしたもの。</p> <p>低入札価格調査制度の対象とし、4者からの応札があり落札率は85.97%であった。</p>
事業概要	水道管路緊急改善事業として、経年老朽化した主要配水管路を地震に強い耐震型ダクタイル鋳鉄管に更新しており、その布設替えを行ったもの。
委員会意見	<p>本案件の入札にあっても低入札価格調査制度が適用された。4者が応札したが、入札の結果調査基準価格を上回った者がいなかった。</p> <p>また、失格基準価格を下回った者もいなかった。このうち最も低い価格を提示した者が調査対象に選ばれた。調査の結果、契約内容に適合した履行が認められたので落札者としたとのことであった。</p> <p>落札者は自助努力によりコスト削減に努め、その結果、他者よりも安い価格を提示できたとのことであった。担当者の説明を受け、何ら問題がないことを確認した。</p>

審議概要	
案件No.	4
案件名	豊里定住促進住宅外壁等改修工事(第二期)
入札経過及び結果等	<p>制限付一般競争入札で執行し、参加条件については、市内に本社又は支社を有する事業者であって、塗装工事部門の格付等級がA等級の業者であることとしたもの。</p> <p>低入札価格調査制度の対象とし、2者からの応札があり落札率は89.31%であった。</p>
事業概要	市営住宅(RC造5階建て)の改修工事を行うもので、屋上防水工事、塗装改修工事、換気設備改修工事を行うもの。
委員会意見	<p>本案件の入札にあっても低入札価格調査制度が適用された。2者が応札したが、いずれも調査基準価格を下回った価格が提示された。そのうち失格基準価格を上回り、かつ調査基準価格を下回った者が1者、失格基準価格を下回った者が1者であった。その結果失格者を除いた残る1者が調査対象に選ばれた。調査の結果契約内容に適合した履行が認められたので落札者としたとのことであった。</p> <p>落札者は自助努力によりコスト削減に努め、その結果、他者よりも安い価格を提示できたとのことであった。担当者の説明を受け、何ら問題がないことを確認した。</p> <p>なお、入札参加者が2者と少なかったのは、本工事の防水改修工事を含むという特殊性にあったと思われるとのことであった。</p>

審議概要	
案件No.	5
案件名	登米市公共施設3施設 ZEB化等導入可能性調査業務委託
入札経過及び結果等	制限付一般競争入札で執行し、業者選定方法については、「検査・分析・調査等」部門の「施策・計画策定」に登録があることとしたもの。 1者からの応札があり落札率は99.06%であった。
事業概要	施設の空調と各設備の老朽化による更新に伴い、高効率設備の導入などによる、ZEBや省エネ基準といった建物の環境性能の各基準への適合の可能性調査を実施し、調査結果に基づき、設備容量の最適化など、今後の修繕等の内容の判断に必要な事項の整理を行うものであり、本調査結果に基づき、公共施設の省エネ化を推進することにより、電気料金などの維持管理経費の削減や、温室効果ガスの排出抑制を図るもの。
委員会意見	本案件は最低価格制限制度でもなく低入札価格調査制度でもない通常の制限付一般指名競争入札（郵便入札）方式で入札が実施された。 少なくとも5者程度は応札するものと見込んでいたとのことだが、結果的に1者のみの応札であった。 予定価格に対する落札率は99.06%と高かった。委員からは、この種の調査を請け負える業者については、大学も含めて対象をもっと広げていくことも検討すべきなのではという意見が出された。

審議概要	
案件No.	6
案件名	消防用ホース購入
入札経過及び結果等	指名競争入札で執行し、業者選定方法については、「消防・保安用」部門の「消火ホース」に登録のある市内の登録業者をすべて選定したもの。 9者からの応札があり落札率は99.05%であった。
事業概要	耐用年数の経過や損耗が著しい消防用ホースを更新することを目的として発注するもの。
委員会意見	本案件は最低価格制限制度でもなく低入札価格調査制度でもない通常の指名競争入札（郵便入札）方式で入札が実施された。その結果4者が応札に参加した。消防用ホースという特殊な物品ではあるが、かなり標準化されており、提示された価格には大きな差はなかった。 言うまでもなく最も低い価格を提示した者が落札したが、結果的に予定価格に対する落札率は99.05%と高かったのは、こうした事情が背景にあったと思われる。

総合的所見

今回は低入札価格調査制度が適用された案件を中心に審議した。この制度が適用された審議対象4案件すべてで入札価格は低入札価格調査制度による調査基準価格を下回った。予定価格の見積りに問題がなかったのか懸念されたが、各案件とも、応札者が別の工事現場との機材の共有やその他の経費を節減して応札額を提示していることが分かり、いずれも決められたルールに従って問題なく落札者が決定されていることを確認できた。

他の2つの案件についても何ら問題がなかった。

今後とも各部署におかれては、引き続きサービスの質を維持向上しつつ、競争性と透明性の確保によって適正な入札・契約手続きに努めていただきたい。